

卓 話

平成 26 年 11 月 25 日

『ダバオ訪問報告』

国際奉仕委員会 柴田和夫委員長

DATE	ACTIVITIES	PERSON INVOLVED
11月15日（土）	マルコポーロホテル発ニューコレリアへ ニューコレリア着 ●町の中心地ポブタシオンにて 1) ANAK-NC 事務所訪問 2) 町長面会 3) ラジオ局訪問 4) 保健センターと分娩センター訪問 昼食 ●ポブタシオン以外の地区へ（通り道に近い地域を2か所ほど訪問） ニューコルテスバランガイ他のヘルシーライフスタイル推進チームを訪問・交流 ウォーキングプログラムの成績板他を見学 ニューコレリア発ダバオへ	ジョセフィン・ケアンソン（IPHC代表） コラさん（IPHCスタッフ・AHI元研修生） ジョエル・キナナハン（ANAK-NC代表） ナンシーさん（ニューコレリア町の健康課課長・医師） ウェンディさん（2014年AHI研修参加者） ジョセフィン・ケアンソン（IPHC代表）
11月16日（日）	マルコポーロホテルにてダバオのロータリークラブメンバー3名と朝食会 1) Ruth Theresa G.Castillones（現会長） 2) Dr.Marilyn P. Puno（次期会長） 3) Edna C. Ko（元会長、クラブトレーナー）	ジョセフィン・ケアンソン（IPHC代表）

森井脩次パスト会長

11月14日～11月17日までの3泊4日でフィリピンのダバオと訪問した私の感想をお話します。

- 1) フィリピンの人口は9,800万人とのことで、意外と多い人口でした。
- 2) 飛行場では人および持物検査そしてボディチェックが思っていたより厳しいです。ホテルでも入場者全員にボディチェックがあり、日本より検査は厳しく行なっています。
- 3) タバコに関して、飛行場内およびその周辺そしてホテル、レストラン内はすべて禁煙でした。同行した5人のうち2人が喫煙者でしたので大変迷惑のようでした。
- 4) 中国やインドでは、今でもいるように思いますが、フィリピンのダバオでは、子どもの物もらいや浮浪者の者もらいがいないようでした。
- 5) 3日間、夕食は一般のレストランおよび食堂で食事をさせてもらいました。渡辺会員の段取りでは、1日目は中華、2日目はイタリアン、3日目は日本食でしたが、どの店も満席でした。そして、私が思っていたより高い金額の食事でしたが、現地の人が多く食事をしていて、思っていた以上に良い生活をしているように思いました。
- 6) 最後に私が仕事の関係があるために自動車に関してですが、約80%が日本車で、トヨタ、ホンダ、日産が多く、トラックは、三菱、いすゞが多く走っていました。日本車以外で多く走っているのは、韓国車でした。運行のマナーはすごく悪いため、町全体が渋滞です。路線バスが走っていないようで、トラックを改造した10人余りから20人乗りの車が多く走っていました。車の走行を見ているとまだまだ発展途上国でした。

初めてのフィリピン訪問でよい勉強をしました。